

とういん市民活動支援センター登録団体代表者会議報告

2019年6月1日(土) 10:00~12:00

出席者 27団体 28人

1. 開会

運営委員会会長伊藤公一挨拶

町民課藤田係長挨拶

2. 今年度事業説明(別紙1)

センターの目的、事業内容、業務内容、今年度事業方針

わくわくフェスタ出展応募要項、とういん市民活動応援募金助成先募集

3. グループワーク テーマ「後継者の準備は？」

1班: 魅力ある会を作り、入会を呼びかける。

会員の高齢化による**自然消滅**。存続するため会のリニューアル化。

**笑顔**の交換ができる場所作り。ボランティア体験の場を作る。

太極拳などは高齢者の体力づくりに貢献していることをアピール。

町民課と協力してボランティアの**楽しさ**をアピール

2班: **ターゲットは60代**。

体験会、発表の場を開いて活動を紹介。公民館講座で募集。

新しい人の定着が難しい。年上の人を指導する難しさ。**伝え方の工夫**。

元からいる人とのギャップ。大事にしていることを共有。

3班: 公民館講座への活用。**創業者の思いが強すぎる**。

仕事とボランティア両立しにくい。リタイヤの年齢が高齢化。

技術系ボラは育てるのに時間がかかる。

ボランティアは人のため?自分のため?

4班: マジックなど指導者が必要。口コミで募集。

若い人は働いているのでリーダーを敬遠する。

全体像を知ってもらいたいので**輪番制**にする。

イベントを活用して広げる。年齢制限(60歳以上)を取り払う。

5班: 広報等での募集は反応なし。自治会やサロンで呼びかけ。

**わくわくフェスタを活用**して募集。やる気のある人を集めるには?

個人的に呼びかけるが成果が上がらない。

“同年代集まれ”という企画をしては?

6班: イベント参加者に現場の体験。

役員同士の**情報共有**。イベントでの他団体との交流。

得意なことを振り、役割分担をし、**代表の負担を減らす**。

**代表定年制**の導入。任せて口出ししない。

7班: 役員1期2年で副会長⇒会長と交代。

イベントの参加者(子どもや親)から、**10~20年というスパンで**。

郷土資料館(三和⇒城山小空き教室)の有効活用、案内人として

老人会を巻き込む。

環境を整備して作業の効率化を図る(農業)。

#### 4. 団体アピール

- ・東員障がい児者友の会  
代表者が急死して、引継ぎに3,4ヶ月かかった。  
2021年とこわか国体での障がい者スポーツに力を入れている。
- ・紫陽花倶楽部  
6月10日ごろから月末まで見ごろ。7月7日挿し木体験開催。
- ・朗読ひばりの会  
緑綬褒章授章。5月30日に皇居にて。30年の活動が認められた。



(まとめ)

- ・テーマを決め、フリーで話してもらったので、参加された皆さんは、普段感じていることを他の人と共有することができて満足そうでした。
- ・受付を運営委員さんに積極的に手伝っていただいたので良かった。